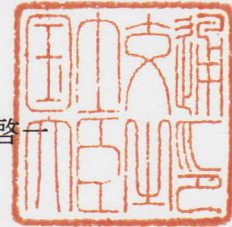


# 認定書

国住指第 776 号  
平成 29 年 7 月 3 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060FL-0922
2. 認定をした構造方法等の名称  
被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／セメントモルタル充てん／床耐火構造／  
貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付硬質ポリ塩化ビニル管／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ183mm以下)
	面積	0.0264m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		45.3%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 100mm以上

3. 主構成材料の仕様 :

主構成材料の仕様を表 2 に、配管の仕様を表 3 に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
被覆材	材料	材料	ポリオレフィン系樹脂不織布付軟質塩化ビニル樹脂シート・PET フェルト	
		寸法	厚さ：14.2mm 以下 被覆長さ(図1及び図2参照)： たて管の場合 床下からの長さ 300mm 以上、床下からの長さ 100mm 以上 横枝管の場合 たて管中央部からの長さ 300mm 以上	
	表面材	①	材料	①及び②の組合せ
			材料	あり又はなし ポリオレフィン系樹脂不織布
		質量		
		②	材料	軟質塩化ビニル樹脂シート
			組成 (質量%)	
			厚さ	2.2mm 以下
			密度	
	基材	材料	PET フェルト	
		組成 (質量%)		
		厚さ	12mm 以下	
		密度		
	充てん材	材料	セメントモルタル	
		組成 (質量%)		
使用箇所 (使用量)		床と配管の隙間 (床厚方向100mm以上密に充てん)		

表3 配管の仕様

項目		仕様				
配管	たて管 ・ 横枝管	硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776) (VP管、HIVP管、HT管)	外径	φ114mm以下	厚さ	7.1mm以下
	継手	硬質ポリ塩化ビニル管継手(横枝管1本以下) (JIS K 6739、JIS K 6743、JIS K 6777) (DV管、TS管、HT管)		φ123.2mm以下		4.3mm以下

4. 副構成材料の仕様：  
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
ジョイントテープ	材料		
	寸法	幅：76mm以下	
	使用箇所	被覆材と配管の端部、被覆材同士、被覆材の中央に使用	
被覆材用テープ	材料		
	寸法	幅：76mm以下(たて管・横枝管)、51mm以下(継手)	
	使用箇所	被覆材の円筒状への貼り合わせに使用	

5. 構造説明図：  
構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm

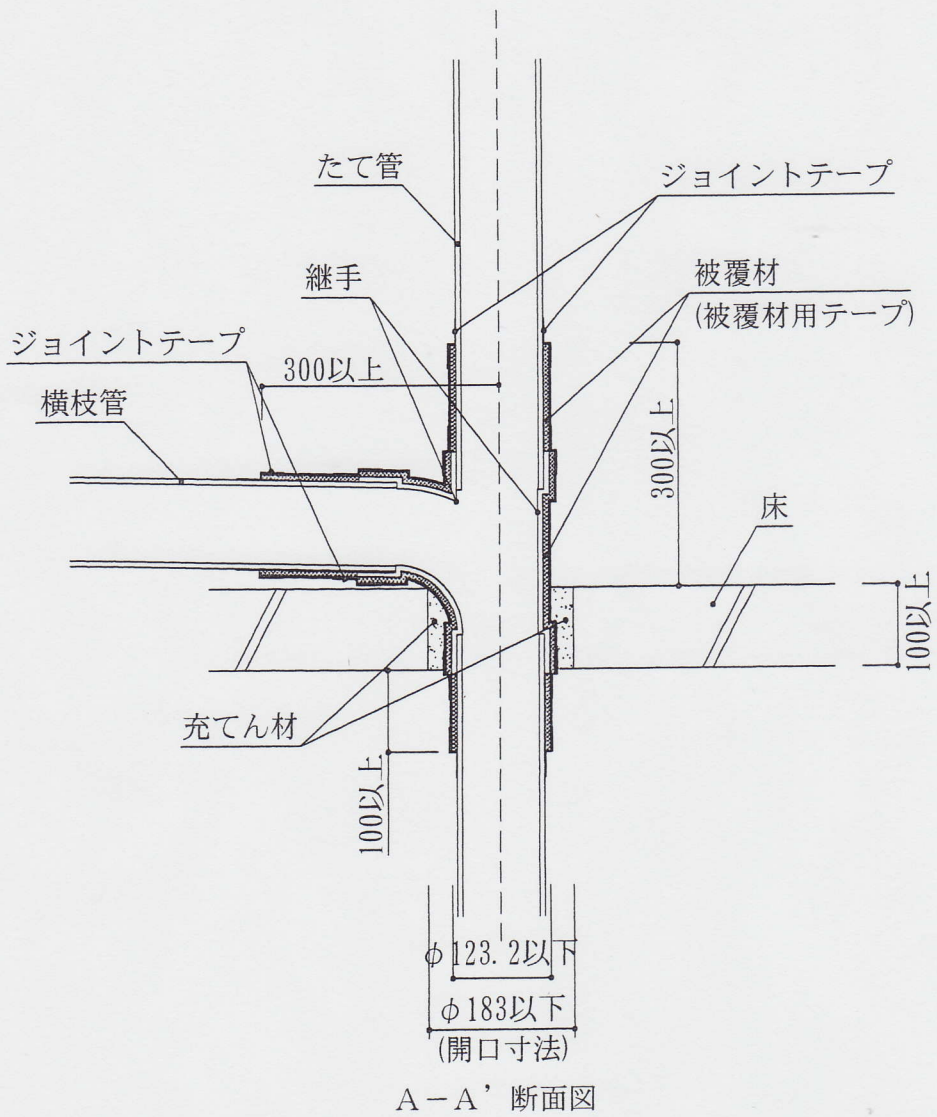
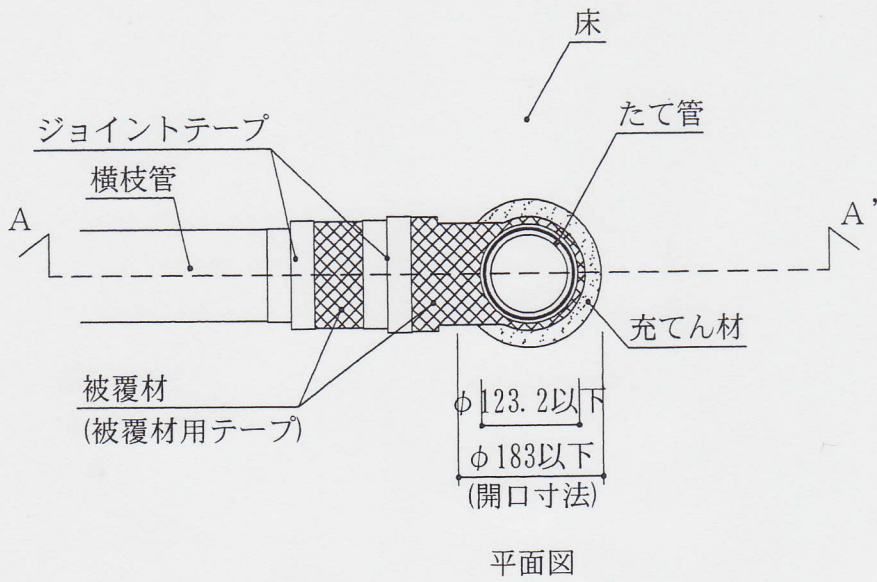
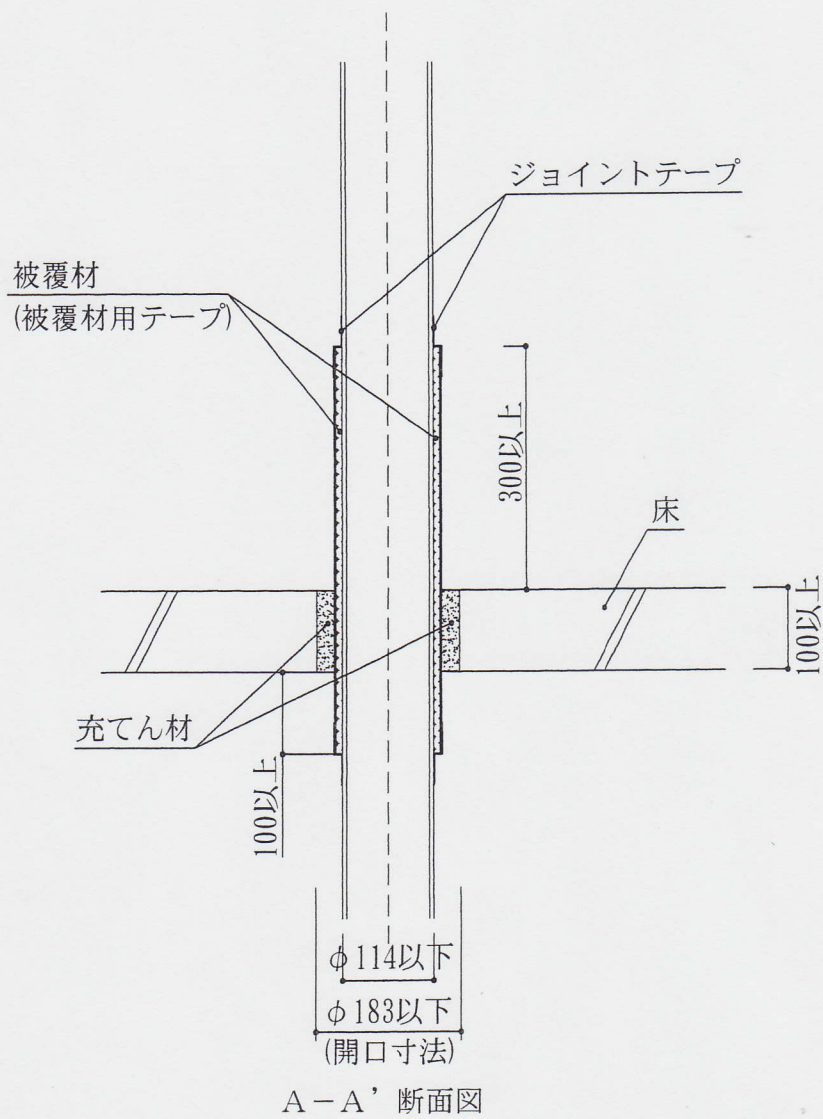
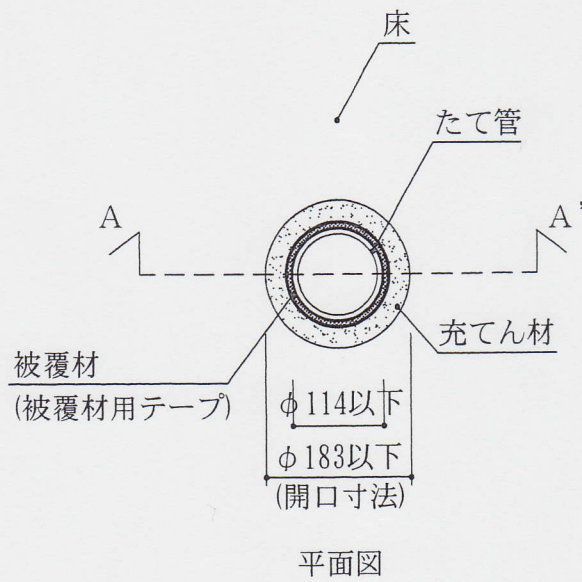


図1 構造説明図（施工図）



(貫通部に継手を用いない場合)

図2 構造説明図 (施工図)

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

- (1) 貫通開口部の設定  
配管サイズ及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。
- (2) 配管の設置  
被覆材を予め使用する配管に挿入し、被覆材用テープで支持・固定する。
- (3) テープ留め  
被覆材同士、被覆材と配管の間をジョイントテープ留めする。
- (4) 埋戻し  
セメントモルタルにて埋め戻し、隙間がないことを確認して仕上げる。